

ID:

山口県立総合医療センター

様

アービタックス+FOLFIRI療法

科

医師:

看護師:

薬剤師:

【治療計画】

1コース 49 日 コース  
休薬期間を含む(必須) 可能な限り繰り返し投与

		投与量	手技	時間	Day1	8	15	22	29	36	43	49
アービタックス	初回	400 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2hr	↓							
	2回目以降	250 mg/m <sup>2</sup>		1hr		↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
トポテシン	CPT-11	150 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	1.5hr	↓		↓		↓	3週間休薬		
レボホリナート	ℓ-LV	200 mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	2hr	↓		↓		↓			
5-FU		400 mg/m <sup>2</sup>	全開		↓		↓		↓			
5-FU		2,400 mg/m <sup>2</sup>	持続静注	46hr	↓		↓		↓			

(インフュージョンポンプにて持続注入)  
※アービタックス:1週間間隔で投与  
FOLFIRI :2週間間隔で投与  
Day50より次クール開始

- 1) アロキシ 0.75 mg  
デカドロン 6.6 mg  
生食 100 ml  
※アービタックス単剤の日は、アロキシなし

点滴静注 30分かけて

- 2) アービタックス 初回 mg 400mg/m<sup>2</sup>  
2回目以降 mg 250mg/m<sup>2</sup>  
生食 500 mL  
2回目以降 250 mL

点滴静注 初回投与 :2時間かけて  
2回目以降:1時間かけて

※アービタックス投与後1時間経過観察

- 3) 次の2種類の輸液を同時に投与  
トポテシン mg  
生食 250 mL

点滴静注 1.5時間かけて

- レボホリナート mg  
生食 250 mL

点滴静注 2時間かけて

- 4) 5-FU mg  
生食 50 mL

全開(bolus)投与

Day 1~2 (46時間)

- 5) 5-FU mg  
生食 mL

点滴静注 46時間かけて(インフュージョンポンプ)

※治療計画は変更になることがあります